

帯広三条高 対話型鑑賞

自由な発想で絵画解釈

帯広美術館から学芸員・作品迎え

【帯広発】帯広三条高校（合浦英則校長）は10月19日から3日間、3年生選択科目「自己表現」の中で、帯広美術館等と連携した対話型鑑賞を実施したII写真II。道教委の道CLASSプロジェクトにおける取組の一つ。生徒たちは絵画に描かれた事物から自由な発想で作品を解釈し、自分の言葉で表現した。

道教委による道CLASS対話型鑑賞は、絵画の中

で起きている出来事や発見をもとに、自他の思いを共有するプログラム。とかち芸術文化振興機構が同校に絵画を貸与し、講師は帯広



美術館の学芸員が務めた。生徒たちは5人程度のグループに分かれ、3作品ずつ鑑賞。学芸員による進行のもと意見交換した。

生徒たちは、作品に描かれている事物を指差しながら説明し、その事物が描かれた意味や作品の解釈など、自由な発想で懸命に言葉を探しながら表現。聞いていた生徒たちは、他者の意見や思いを酌み取り、相つちや納得の表情を浮かべた。